

## 2025（令和7）年度 伊賀市給食センター運営委員会 議事録

◆日 時 令和7年7月22日（火）午後7時30分から午後8時50分

◆場 所 いがっこ給食センター元気 2階会議室

◆事 項

- ・伊賀市給食センター運営委員会委員の任命・委嘱について
- ・会長・副会長の選出について
- ・令和6年度 伊賀市給食センター事業実施報告について
- ・令和7年度 伊賀市給食センター事業実施計画について
- ・その他

◆出席委員 17人

堀川実和子 吉村永子 谷本友子 姫野武 中川裕晴  
板橋誠啓 服部綾 増田真由美 苗村泰旨 田中孝則  
八木かな子 西岡紀子 西口祥子 山本美佳 花垣麻衣  
赤澤奈央 加藤由美子

◆欠席委員 3人

田中智彦 若山公治 吉川英毅

◆事務局 8人

伊賀市教育委員会事務局長 川部千佳

伊賀市教育員会事務局次長 中映人

学校教育課長 西口寿

いがっこ給食センター夢所長 一路勝巳

いがっこ給食センター夢主任 井戸可葉子

いがっこ給食センター元気所長 東構清隆

いがっこ給食センター元気主査 森脇清

府中小学校 栄養教諭 中森美優

◆傍聴者 0人

## ◆内 容

事務局（司会・学校教育課長）	<p>それでは、定刻となりましたので『令和7年度 第1回伊賀市給食センター運営委員会』を開催させていただきます。私は、伊賀市教育委員会学校教育課長の西口でございます。今日の司会をさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、事項書を見ていただいて、会議に先立ちまして、教育委員会事務局長の川部よりご挨拶を申し上げます。</p>
教育委員会事務局長	<p>みなさまこんばんは。教育委員会事務局長の川部と申します。本日はお忙しい中、「伊賀市給食センター運営委員会」にご出席いただき、ありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃より伊賀市の学校給食の充実と安全・安心な給食の提供にかかる給食センターの運営にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。</p> <p>さて、連日暑い日が続いております。学校給食においては、衛生管理の徹底はもちろんのこと、食欲が落ちやすい時期でもしっかりと栄養が摂れるよう、調理や献立に工夫を凝らしております。また、感染症については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、インフルエンザや夏風邪などの流行もみられることから、引き続き衛生対策や体調管理に万全を期す必要があり、給食センターにおいても、引き続き調理員の健康管理や施設内の衛生環境の維持に努めてまいります。</p> <p>さて伊賀市におきましては、引き続き、小中学校の給食費の保護者負担の無償化を行っております。また、今年度は地産地消の推進と地元食材に関する知識を深めるきっかけづくり、将来に伊賀市産の食材を積極的に選んでもらえることに繋げるなど、食育のさらなる推進を図るために、伊賀牛など市内産の食材を積極的に取り入れた「伊賀スマイル給食」の予算を拡充し、より子ども達に美味しい給食を提供しています。学校給食における地場産品を使用する目標割合を金額</p>

ベースで65%としており、児童・生徒の皆さんに伊賀のおいしい食材を味わってもらうことで、伊賀への愛着やシビックプライドの醸成、また食育に繋げていきたいと考えています。

給食センターの各施設の現状ですが、「いがっこ給食センター元気」は令和2年の操業開始後、順調に運営が行われてきており、今年の4月から新たに久米小学校、島ヶ原小学校、青山小学校の3校を加えた15校に給食を提供しています。令和9年度からは上野西小学校、友生小学校の2校を加えた17校に給食を提供する予定としており、それに向けた施設整備を今年度から進めていく予定です。

また、「いがっこ給食センター夢」では現在、市内の全ての中学校に給食を提供しています。平成19年の創業から18年が経過し、設備や厨房機器の経年劣化が見受けられるようになってきておりますが、更新計画に基づき計画的に設備や厨房機器等の更新を行い、施設の長寿命化を図っていきたいと考えています。

昨今の給食センターを取り巻く情勢について、簡単に述べさせていただきましたが、こういった状況も踏まえ、本日の運営委員会についてはご案内させていただいた事項に則り、委員の皆様からのご意見やご提案をもとに、より良い学校給食の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

どうぞ忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

事務局（司会）

ありがとうございました。机の上に本日の資料を配布させていただきました。それぞれ資料のご確認をお願いしたいと思います。まず、

- ①『令和7年度 伊賀市給食センター運営委員会事項書』
- ②『令和7年度 伊賀市給食センター運営委員名簿』
- ③『伊賀市給食センター運営委員会条例』
- ④『資料1』に令和6年度伊賀市給食センター事業実績報告と、給食センター元気と夢の献立と給食センターだよ

り

⑤『資料2』に令和7年度給食センター事業実施計画 献立表と給食センターだより

となります。以上資料が足りない方は、いらっしゃいませんでしょうか。

なお、この委員会は「伊賀市情報公開条例」並びに「伊賀市自治基本条例」及び「伊賀市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき、会議を公開とし、傍聴等を認め、議事録作成のための録音をさせていただきますので、ご了承ください。それから議事録は、後日、伊賀市のホームページ等で公開させていただきますので、ご了解いただければと思います。

それではまず、「伊賀市給食センター運営委員名簿」をご覧ください。運営委員の皆様方には、令和7年7月1日から令和9年6月30日まで、伊賀市給食センター運営委員に委嘱・任命させていただきました。机の上に、委嘱状または任命書を置かせていただいています。どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局（司会）

本日が最初の運営委員会となりますので、お一人ずつ自己紹介をお願いするのが本意ですが、会議時間短縮の観点から、事務局の方で資料の順に読み上げさせていただきます。ご了承ください。名簿の方をご覧ください。

No.1から順番に紹介させていただきます。まず、第1号委員といたしまして、上野北小学校長の田中先生は、本日欠席の連絡をいたしています。府中小学校長の堀川先生です。久米小学校長の吉村先生です。島ヶ原小学校長の谷本先生です。青山小学校長の姫野先生です。阿山中学校校長の中川先生です。崇広中学校校長の若山先生と、大山田中学校校長の吉川先生は、本日欠席です。島ヶ原中学校長の板橋先生です。

続いて10番からは、第2号委員となり、配膳対象学校の

保護者の方になります。阿山小学校保護者の服部綾さまです。上野南小学校保護者の増田真由美さまです。久米小学校保護者の苗村泰旨さまです。島ヶ原小学校保護者の田中孝則さまです。青山小学校保護者のハ木かな子さまです。城東中学校保護者の西岡紀子さまです。靈峰中学校の西口祥子さまです。阿山中学校保護者の山本美佳さまです。青山中学校保護者の花垣麻衣さまです。

続きまして、第3号委員として学識経験者或いは専門知識を有する者として、府中小学校栄養教諭の赤澤先生です。緑ヶ丘中学校栄養教諭の加藤先生です。以上、欠席の方を含めまして20名の伊賀市給食センター運営委員となります。

事務局（司会）

続いて事務局を紹介させていただきます。教育委員会事務局長の川部です。教育委員会事務局次長の中です。いがっこ給食センター夢所長の一路です。いがっこ給食センター夢主任の井戸です。いがっこ給食センター元気所長の東構です。いがっこ給食センター元気主任の森脇です。府中小学校栄養教諭の中森先生も出席いただいています。

最後に私、学校教育課長の西口です。どうぞよろしくお願ひいたします。

続きまして、資料の「伊賀市給食センター運営委員会条例」をご覧ください。第6条第3項にありますように、本日は、半数以上の運営委員の方にご出席いただいておりますので、本日の運営委員会は成立しておりますことをご確認いただきたいと思います。

続きまして「令和7年度役員選出について」でございますが、同条例第5条第1項により委員長と副委員長の選出を行いたいと思います。まず、委員長ですが「委員の互選により定める」となっておりますが、何かご意見ございませんか？（意見なし）

ご意見がないようでしたら、事務局（案）を提案させてい

	<p>ただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、事務局（案）としまして、委員長には、阿山中学校の中川校長先生にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。（拍手の承認あり）</p> <p>それでは、承認の拍手をいただきましたので、ご異議なしとして、今年度の運営委員会委員長は、中川校長先生にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、副委員長ですが、こちらも事務局案を提案させていただいてよろしいでしょうか？（意見なし）</p> <p>事務局（案）としまして副委員長は府中小学校の赤澤栄養教諭にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。（拍手の承認あり）</p> <p>ありがとうございます。それでは承認の拍手をいただきましたので、異議なしということで、副委員長は、赤澤栄養教諭にお願いしたいと存じます。それでは、委員長、副委員長、前の方に席の移動をお願いします。</p> <p>（席の移動）</p>
司会	<p>それでは、同条例第6条第2項により、中川委員長の議長役により、議事の進行をお願いしたいと思います。中川委員長、よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>失礼します。ただいま委員長に選出されました阿山中学校の中川でございます。どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>皆さま方にご協力をいただき、円滑に議事を進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、早速ではございますが、事項書に従いまして進めさせていただきたいと思います。</p> <p>なお、質疑などをされる場合は、はじめに、お名前をおっしゃっていただき、すべての発言はマイクを使っていただきますようお願ひしたいと思います。</p>

委員長	それでは、議事1番、資料1です。「令和6年度伊賀市給食センター事業実績報告について」事務局より説明願います。
事務局	<p>失礼します。いがっこ給食センター元気の東構と申します。私の方からは、資料1令和6年度伊賀市給食センター事業実績報告、それから、いがっこ給食センター元気の献立表と給食センターだよりと、いがっこ給食センター夢の献立表と給食センターだよりをご覧いただきなら、ご説明申し上げます。座って失礼します。</p> <p>まず第1項、令和6年度の給食実施期間及び日数です。令和6年度の1学期は、始業式が4月8日、終業式が7月19日だったのですが、給食の提供は4月10日から7月18日の68回、同様に2学期の給食提供は、9月3日から12月20日の75回、3学期の給食提供は、1月9日から3月21日の47回で、年間合計190回の給食を実施しました。</p> <p>続いて第2項、令和6年度の給食費についてです。先ほど冒頭で、事務局長が、令和5年度から給食費の無償化を実施しています、とお話がありましたが、令和6年度、いがっこ給食センター元気（小学校給食）が、1日約1,880食を小学校12校に届けており、日額1食280円、いがっこ給食センター夢（中学校給食）が、1日約2,310食を中学校9校に届けており、日額1食305円を目安に給食を準備しています。決算の報告になりますが、令和6年度決算額として、一般会計・歳出教育費の保健体育費の、学校給食管理運営費、需用費の賄材料費（給食の食材購入費）といたしまして、合計366,564,600円が、公費負担額となっています。内訳といたしまして、給食センター元気の分が、103,235,765円、給食センター夢の分が、135,182,777円、自校式給食の分が、128,146,058円という内訳です。一方、歳入の方ですが、給食費の教職員等本人負担金として、これは学校の先生やセンターの職</p>

員が喫食した給食の材料費で、合計45,718,391円、内訳が給食センター元気の分が、14,547,120円、給食センター夢の分が、15,475,090円、自校式給食の分が、15,696,181円という内訳です。

引き続きまして第3項、献立の充実についてです。

(1) 学校給食摂取基準に基づいた献立の作成に努め、原材料から調理する「手作りによる給食」を推進しました。

(2) 伊賀産・県内産の積極的な選定や「いがスマイル給食」の実施で、地産地消及び食育の推進を図りました。金額ベースで、どのような購入割合になっているかの実績報告ですが、資料1の2ページの上部に、給食物資の地場産割合を掲載させていただいています。令和6年度の地場産（伊賀産・三重県内産）の占める割合について、給食センター元気が、62.6%（前年度62.3%）うち伊賀産が22.6%、国内産が26.9%、外国産が10.5%、給食センター夢が、62.5%（前年度64.0%）うち伊賀産が25.0%、国内産が27.4%、外国産が10.1%となります。給食センターとして平均して、62.55%うち伊賀産が23.8%、国内産が27.15%、外国産が10.3%となります。中学校給食のいがっこ給食センター夢の方が、伊賀産率、国内産率で少し小学校給食のいがっこ給食センター元気を上回っているという結果が出ています。

それから、いがスマイル給食についてですが、地産地消と児童・生徒が地元伊賀産の良さを知る食育を目的に、伊賀産の牛肉や豚肉、野菜、果物等の食材を利用した給食のことです。月に1回から2回、スマイル給食の日があり、伊賀市の農林振興課から、食材費購入の補助を受けています。例えば、献立表の令和6年11月の資料で、元気の献立のほうですが、21日（木）と26日（火）がスマイル給食の日となっております。夢の献立のほうは、13日（水）と27日（水）がスマイル給食の日となっております。どちらも、伊賀産の食材をふんだんに使った給食の献立を作っていただき、児童

生徒に食べていただいている。同時に給食だよりも、スマイル給食の実施の日や、使用する地元食材について掲載して、地元伊賀産の食材の良さや伊賀の郷土愛の醸成など、食育の推進をしています。

次の有機農産物の使用についてですが、令和6年7月に、伊賀市・名張市が共同で、オーガニックビレッジ宣言を行ったことを受け、いがっこ給食センター元気の配食小学校で、有機JAS認証の伊賀米コシヒカリを12月19日に給食で使用しました。こちらも、伊賀市（農林振興課）から補助をいただています。

(3)郷土の特色を盛り込んだ献立や行事食等を取り入れました。例えば12日の芭蕉こんだて、こちらは、いがっこ元気の献立ですが、給食たよりには、芭蕉月間最終日（しぐれ忌）に、山の幸をたくさん使った献立がでたり、中学校では同じ日に、芭蕉の月見献立として、給食だよりには、いがっこ給食センター夢版の芭蕉「月見献立」が提供される記事があったり、郷土の特色や季節感のある行事等に併せた献立を作成いただき、食育の推進を図っております。

(4)防災教育と学校給食を連携させ、児童・生徒に生命の尊さと命を守る行動、災害時の食事等について考えてもらうため、防災給食を実施しました。（温めずに食べられるヒートレスカレー）

次に第4項、食品の安全確保と衛生管理についてです。  
(1)「学校給食衛生管理基準」及び「大量調理施設衛生管理マニュアル」等に基づいて、衛生管理を徹底し、食中毒等の防止に努めました。

(2)食物アレルギーを有する児童や生徒に対応するため、安全なアレルギー対応食の提供を実施しました。令和6年度における、両給食センターで対応した、人数を掲載させていただいている。いがっこ給食センター元気で16人、いが

っこ給食センター夢で16人を対応いたしました。例えば、鶏卵、小麦粉、魚介類の甲殻類など、代替や除去で対応しておりますが、アレルギー反応する食材が、主菜の場合が代替、主菜以外の場合が除去で対応しております。

(3) 施設管理者や衛生管理者、調理従事者等が、衛生管理の意識向上を図るため、各種の研修会に参加しております。資料に掲載のとおり、学校給食の安全と充実に向けた講習会（施設管理者・衛生管理者を対象として開催）、伊賀学校栄養士会研修会（年間7回の開催）、学校給食調理員研修会、伊賀学校給食研究大会等々、昨年8月1日、2日、第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会が長野市で開催され、その大会で、伊賀市の赤澤栄養教諭が、代表選抜されて、日々の取組や実践報告されています。この様に、栄養士の一人一人或いは調理師の一人一人が、自身のスキルアップを目指して、研修会等に参加させていただいています。

次に第5項、学校給食に対する相互連携の充実と食育の推進として、(1) 栄養教諭及び食育担当教諭との連携を図りながら、学校訪問による児童生徒指導を行い、食育の推進に努めました。児童・生徒の給食の残食率（給食が残ってセンターに戻ってくる量の割合；ゼロに近いほど良い）いがっこ給食センター元気が、3. 35%（前年度4. 13%）いがっこ給食センター夢では、6. 7%（前年度8. 6%）と取組みが進みました。

(2) 献立表や給食だよりを活用し、食生活に対する正しい知識の普及を図りました。（GIGAスクール端末や動画などのデジタル活用）

(3) 学校給食に対する理解を深めるため、給食センター見学の受け入れをしております。昨年度いがっこ給食センター元気では、8回の見学がありました。また、管理栄養士の免許取得をめざす学生の受け入れをしております。

(4) 中学生職場体験で、いがっこ給食センター夢では、緑ヶ丘中学校2年生を、いがっこ給食センター元気では、城

東中学校2年生の受け入れをしております。

(5) 給食センターと学校との相互連携を図るため、担当者会議を開催しました。年度当初に、給食担当者が、変動する給食人数の増減の報告方法、食物アレルギーのある児童・生徒に関する対応会議など、安心安全な学校給食を実現するため、必要な打ち合わせや会議を開催させていただきました。

(6) 食育を推進している中で、生活習慣や、心身の成長や、エネルギー等栄養のバランスの観点から、朝食を摂取しようという、朝ご飯を食べて、登校するということを推奨しております。

「早寝早起き朝ご飯」で生活リズムを整えることや、朝ご飯におススメの給食レシピなどを給食だよりに掲載しました。いがっこ給食センター元気の配食校の児童を対象に、食育推進のクリアファイルを配布しました。

令和6年度の児童・生徒の朝ご飯の欠食率（全く食べない割合）小学校6年生で7.0%（前年度7.3%）中学校3年生10.6%（前年度10.1%）と小学校が少し改善、中学校が良くない方向に微増しています。

第6項、職場の安全衛生と健康管理についてです。委託業者を含めた調理に携わる者の健康管理の徹底を図り、施設、設備の点検や巡回等により共同調理施設として環境管理や安全衛生の確保に努めています。

第7項、厨房機器等設備・給食用備品の更新入替についてです。

(1) 自校式からセンター式給食が増加することに伴い、いがっこ給食センター元気の除害施設の増強工事（汚水処理能力を増強させる工事）や、いがっこ給食センター夢では、真空冷却機及び保存食冷凍庫の機器更新を行いました。

(2) 芭蕉翁生誕380年を記念して、中学校給食（いがっこ給食センター夢）で使用している食器（汁椀）を俳句食器

	<p>(芭蕉さんの俳句とイラストが印刷された食器)に更新しました。</p> <p>(3) 令和6年10月に開催された中学生議会で、左右どちらが利き手でも使える「お玉」が導入できないかと提案があり、スープレードルを「お玉」に、サラダや和え物の盛り付けに使用している麺杓子をトングに変更しました。</p>
委員長	<p>以上、令和6年度給食センター事業実施報告とさせていただきます。</p>
委員（小学校長）	<p>ただいま説明いただいた、第1項の令和6年度給食センター事業実績報告について何かご質問やご意見はございませんか？</p>
委員長	<p>2点あります。1つは、防災のヒートレスカレー、こどもたちに防災の意識や最も大切な命を守ることなど、防災給食の機会をとおして、学び易かったので、非常によかったです。2つは、芭蕉食器について、自校式からセンター給食になつたので、無くなりましたが、芭蕉さんについて、こどもたちが、自然と親しんでいくと思いますので、機会があれば、同様の取り組みをお願いしたい。</p>
事務局	<p>事務局のかた、ご回答如何でしょうか。</p>
	<p>まず、防災給食ですけども、ヒートレスカレーの保存できる年限がありまして、ちょうど同じタイミングで夢も元気も更新しなければいけないタイミングで、自校のほうも一緒に声かけさせてもらって、防災給食ということで実施をさせていただきました。また、そういうのが何年かに一度来るかと思いますので、センター同士打ち合わせをして、そういうふうな取組に持つていけたらと思っていますので、また次の機会が何年後かに、そういう機会でさせていただければと思います。</p>

それから、食器のほうですけれども、残念ながら給食センター元気のほうは、委託が夢のほうと違っており、PFI事業の委託ということで、給食の食器の交換計画もすでに計画の中に入った中身になっているのです。

例えば、令和7年の4月の自校式給食から、小学校のセンター給食への移行や、今度9年に想定されます、上野西小学校、友生小学校のセンター給食への移行については、契約の事項の中に入っておりまして、事業者が必要と考える給食食器の数を導入・更新するというふうになっています。

なかなか伊賀市が後になって、注文したい食器が、使ってもらえないような状況になっていまして、元気のほうではこういった取組と一緒に乗っかっていけないっていう事情がありました。

いがっこ元気では、残念なのですから、芭蕉食器の取組には参加せず、去年、いがっこ夢のほうでは更新のときに、芭蕉の食器ということで、取組をさせていただいたということになっております。

その契約の形で、なかなか実現できない部分があるということを、委員さんの皆様にはご承知いただきたいなと思いますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

委員長 よろしいでしょうか。

委員（保護者） ありがとうございました。

事務局 食器のことですけれども、いがっこ給食センター夢では、センターの設立当初から導入いただいた食器を使っていまして、食器の更新も考えていますが、予算的なこともありますので、これを機に更新させていただきました。自校のほうでも俳句食器を導入していただいているので、俳句に親しんでいただくということもあって、昨年度は俳句食器を導入させていただいたのですけれども、今年度は予算が付いて

	いませんので、来年度以降も食器の更新は予算要求していきたいと考えています。普通の一般的な食器を入れるよりも割高で、予算的なこともあります、その点もまた考えていきたいと思います。
委員（保護者）	1点教えていただきたいのですけれども、食物アレルギーの件ですが、アレルギー対応食の範囲を教えていただければと思うのですが、お願ひします。
委員長	事務局お願ひしますアレルギー対応について、どんな幅があるのかということですね。
事務局	小麦や、あるいはエビ、カニとかを基本除去するということになってくるかと思います。先生、説明をお願いします。
委員（栄養教諭）	アレルギー対応のほうは、保護者さんと食材の確認で面談をさせてもらって、可能な限り対応していくっていう形になっています。でも調味料とかになりますと、給食で対応できなくなってくるので、そちらは提供なしという形になることが多いのですけれど、基本的には保護者さんと面談をして進めていくっていう形になっています。 何か具体的にこの食材とかありますか。
委員（保護者）	複合的なものが対応いただけるのかどうか知りたくて、例えば小麦と大豆とかってなったときに、そういうったものも除去食っていうのが可能なのでしょうか。
委員（栄養教諭）	もちろん大丈夫です。卵と牛っていうお子さんもいらっしゃいますし、そのような形で対応していますし、面談をさせてもらって進めていこうと思います。
委員（保護者）	牛乳と大豆っていう場合に、豆乳も牛乳も使えないとなる

	と、そういう場合の対応は難しくなるのですか。
委員（栄養教諭）	除去食になるので、牛乳の代わりに豆乳を使うことはなくして、牛乳をなしにした野菜スープという形になったりするとか、そういう形で対応させてもらうことになります。
委員（保護者）	結構幅広にやっていただけているという形でしょうか。
委員（栄養教諭）	そうですね。
委員（保護者）	ありがとうございます。
委員長	他にいかがでしょう。よろしかったでしょうか。
委員長	それでは、この件についてご承認いただく方の挙手を求めます。
	（委員の挙手）
委員長	ありがとうございます。全会一致で、承認されました。ありがとうございます。
委員長	続きまして、議事2番、「資料2」をご覧ください。令和7年度給食センター事業実施計画について、事務局よりご説明お願いします。
事務局	失礼します。給食センター夢の一路です。どうぞよろしくお願いいいたします。それでは私のほうからは、「令和7年度給食センター事業計画」について、説明させていただきます。
	資料2をご覧ください。給食センターでは、子どもたちの健康増進と、安全かつ安心でおいしい学校給食の配食に向けて、次のとおり事業計画を策定しています。

まず、「給食センターの配送校」についてですが、いがっこ給食センター元気では、市内の小学校18校のうち、資料に記載の15校の給食を調理・配送しています。今年度から、久米小学校、島ヶ原小学校、青山小学校の3校が新たに給食センターからの配達となりました。

また、いがっこ給食センター夢では、今年度から島ヶ原中学校がセンター給食となりなしたので、市内の中学校10校全校に配食しています。

なお、今後の計画ですが、令和9年4月から上野西小学校、友生小小学校の2校が給食センター元気からの配食となります。

項目2、令和7年度の「給食実施期間及び日数」についてです。1学期69日、2学期75日、3学期47日、年間合計で、191日給食を実施します。

次に、項目3、「給食数（児童・生徒数）と給食費」についてですが、資料の別表をご覧ください。給食センター給食数は、表のとおり、5月1日現在の数ですが、いがっこ給食センター元気は、児童・教職員等を含め、2,501食、いがっこ給食センター夢は、生徒・教職員等を含めて、2,314食の配食となっています。

給食費については、令和5年4月から、食育の推進と子育て支援を目的に、市内公立小中学校の給食費の無償化を実施しています。学校給食の無償化を通じて、家庭での食生活の充実や、朝食を欠食する児童・生徒がより少なくなるよう、食育を推進しているところです。

物価高騰が続く中、小学校給食では、1食あたり、昨年度の280円から15円増額し、295円、中学校給食では、1食あたり、昨年度の305円から20円増額し、325円、年間最大で191日が無償となります。

市内小・中学校児童・生徒の給食費無償化に伴う、令和7年度の給食用食材購入の予算額は、328,361,000

円となっています。これは、自校式給食を含む学校給食の賄材料費の額で、小学生一人当たり 56,345 円、中学生一人当たり 62,075 円が無償となります。

この他、いがスマイル給食の予算額として、農林振興課において、28,433,000 円が予算計上されています。物価高騰もありますが、地産地消・食育の推進を図るため、昨年度より 6,935,000 円増額となっています。

資料の 2 ページをご覧ください。項目 4 の「食材の調達」についてです。

給食センターの給食食材については、伊賀市契約規則に準じ、食材の入札（見積合わせ）を実施し、食材調達を行っています。

調達業者は、「給食センター学校給食調理物資納入要領」により登録された 18 業者から納入を行います。野菜類、豆腐類、鶏肉、卵、魚介類は、月間購入物資として、毎月、翌月分の食材の入札を行うこととしていますが、価格変動が少ない物資は、入札の効率化を図り、随時期間として、学期ごとに入札を行います。

また、調味料類は、1 学期、および 2・3 学期に分けて入札を行います。

米麦・パンは、三重県学校給食会から調達をしており、米は伊賀米コシヒカリを使用しています。また牛乳は日本酪農から調達を行っています。

いずれの食材も、物資納入業者と連携し、地場産食材である、伊賀産・三重県産の食材を積極的に使用します。

項目 5、「献立の充実」についてです。

(1) 学校給食摂取基準に基づき、栄養バランスの取れた献立内容の充実に努めます。

(2) 原材料から調理する「手作りによる給食」を推進します。

(3) 伊賀産、県内産の農作物等の積極的な選定や「いがス

「マイル給食」の実施を継続し、地産地消の推進を図ります。伊賀市食育推進計画にも目標値として掲げていますが、学校給食に地場産食材を使用する割合を金額ベースで65%以上としています。

いがスマイル給食の予算額が昨年度より約700万円増額されましたので、スマイル給食の実施回数を月2回から3回に増やし実施しています。

(4) 今年度も、芭蕉献立や忍者の日献立など、郷土の特色を盛り込んだ献立や旬の食材、行事食等を積極的に取り入れます。

項目6、「食品の安全確保と衛生管理」です。

(1) 学校給食衛生管理基準および大量調理施設衛生管理マニュアル等に基づいた衛生管理の充実に努めます。

(2) 良質な食材の選定と適切な検収を実施します。乾物・調味料などは、栄養成分、原材料（食品添加物）、アレルギー物質、原産国、製造工程を確認します。

(3) 食物アレルギーを有する児童や生徒に対応するため、家庭や学校、調理従事者と連携し、実態を把握した上で、安全なアレルギー対応食の提供を実施します。給食センターには、アレルギー対応専用の調理室があり、アレルギー食材が混入するがないようにしています。

(4) 施設管理者や衛生管理者、調理従事者等の衛生管理の意識向上を図るため、各種衛生管理研修に参加します。

項目7、「学校給食に対する相互連携の充実と食育の推進」についてです。

(1) 栄養教諭及び食育担当教諭との連携を図りながら、学校訪問により児童生徒指導を行い、食育の推進に努めます。

(2) 学校給食の献立表及び料理ごとの食材や調味料が確認できる詳細を伊賀市ホームページに掲載し、給食内容を知らせるとともに「給食だより」を活用し食に関する情報をご家庭に提供します。

	<p>また、児童・生徒が使用しているタブレットで、出来上がった給食の写真のほか、食材となっている、食べ物や料理の紹介、給食の調理方法の動画なども随時掲載を行います。</p> <p>(3) 給食センターと学校が連携をとり、食育授業などを通じて、給食残食率の低下に努めます。また、回収した食缶内の残食を、学年ごと、学校別に計量し、各学校へ結果を報告します。</p> <p>(4) センター方式による学校給食は、施設や調理する人の姿を見ることが出来ないため児童の施設見学や生徒の職場体験を受け入れ食育を推進します。</p>
委員長	<p>項目8、「職場の安全衛生と健康管理」についてです。調理に携わる者の健康管理の徹底を図ります。検便検査は、月2回実施します。</p> <p>また、施設・設備の点検のほか、環境管理や安全衛生の確保に努めます。</p> <p>以上、「令和7年度 給食センター事業実施計画」について、説明を終わりります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料に基づきましてただ今、令和7年度、給食センター事業計画について、報告がありました。先ほど同じように、ご質問やご意見がございましたら、挙手にてお願ひしたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。よろしかったでしょうか。</p>
委員長	<p>そうしましたら、資料に基づいた令和7年度給食センター事業計画について、ご賛同いただける方につきましては、挙手にて、お願ひしたいと思います。</p>
	<p>(委員の挙手)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。全会一致で承認されました。</p>

委員長	それでは、議事の3番でございます。その他でございますが、先ほど青山小の委員さんもご質問いただきましたが、保護者の方のご意見もいろいろ、この場で聞けたらと思いますので、申し訳ございませんが、普段の給食の子どもさんとのやり取りや学校での学校の状況とか、給食の無償化について、何かご意見ありましたら、順にお願いできたらと思います。
委員（保護者）	子どもは給食がとても美味しいと毎日献立表を見て楽しみにしています。いがスマイル給食の日は、とても楽しみにしていて、「今日は伊賀牛が出るよ」とか、行事ごとの献立も嬉しいみたいで楽しみにしています。今回は何々だったとか、今回は何々だったとか、いろいろ考えていただいて、ありがとうございますなと思っています。いつもありがとうございます。
委員長	続いてお願ひします。
委員（保護者）	この中で、朝ごはんの件を書いていただいていたのですが、朝ごはんはしっかり食べなければという感じはしています。給食についても話をしています、好き嫌いが多い子なのですけども家では食べなくとも、給食は美味しいのでいただいています。よろしくお願ひします。
委員長	ありがとうございます。
委員（保護者）	いつも美味しい給食をありがとうございます。子どもたちもスマイル給食を楽しみにしています。僕が個人的に思うことは、学校に来られない子どもたちは少なからずいると思うのですけど、子どもたちが給食を楽しみに来られたりする機会があればいいなって思ったりします。そういう機会を生かして地域から繋げていけたらいいなと僕の個人的な思いも

	あつたりします。以上です。
委員長	ありがとうございます。
委員（保護者）	<p>島ヶ原小学校に関して、今年からセンター式の給食に代わったということで、私も5月に試食会のほうに参加させてもらいました。初めは、運ぶ距離もあって、冷めた給食が来るのかなあとそういう不安があったのですけど、作りたてっていうところまでの温かさとかっていうのは、距離の加減とかもあって、多少は冷めているところはあるのかなとは思うのですけど、それでも温かいままの提供で、私の子も今6年生で初めてセンター給食を味わって、好き嫌いも多いほうなのですけど、美味しく食べたっていう話はよく聞きます。また今後、下の子たちにも続いていくと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
委員長	ありがとうございます。
委員（保護者）	<p>青山小学校も今年からセンター給食が始まって、子どもたちも前のほうがっていう話が出てきました。でも、家で食べられないものも、学校だと美味しく食べられたり、あと去年名古屋から引っ越してきたのですけれども、名古屋の小学校では、無かった揚げパンがこっちではあるということで、すごく楽しみに学校に行っているので、これからも美味しい給食をよろしくお願ひします。</p>
委員長	ありがとうございます。
委員（保護者）	<p>うちの息子は、今年初めて中学に上がりまして、去年までは上野西の自校式だったので、前評判が「美味しいぞ」と西小では流れていたのですけども、帰って来てどうやったと聞いたら「めっちゃ美味しいで」って言うから、「それは良かったね」と。毎日お代わりも沢山させていただいているよ</p>

	<p>うで、ありがとうございます。</p> <p>先ほど、ご質問いろいろ出ていたのですけれど、防災食の件ですけれども、2人のご質問を兼ねてと言いますか、おそらく、伊賀だったのかちょっと私もはっきり覚えていないのですけれども、子どもさんが学校で食べるときに、アレルギーがあって、その子だけ食べられなかつたというのがあって、子どもたちが、「これって何か、みんなに優しくないよね。アレルギーの子が食べられないって変だよね。」っていうのをどっかで聞いたことがあるのですね。</p> <p>確かにそうだなと。私は何も思わなくて、こういう給食が出来ますから、保護者さん、アレルギーがあったら言ってくださいねっていう手紙を確かにもらっていたのは、私も覚えているのですけれども、それってそうやねって、ちょっと考えさせられるところが親としてあったのです。</p> <p>今すぐこういうのは無理かもしれませんけれども、やっぱりそういうこともいろいろと考えていかないといけないのかなと思って、気づかせていただきました。以上です。</p>
委員長	ありがとうございます。
委員（保護者）	いつも美味しい給食をありがとうございます。家でちゃんと作らないようなメニューでも、学校で食べてきて喜んでくれていたり、あと学校で美味しかった給食を「家で作ってみるわ」って言って子どもが作ってくれたりもしています。夏休みに入って、どうしても給食のようにバランスのとれた食事が家ではちょっと出来ないので、簡単なメニューがあれば献立て教えていただければと思います。
委員長	ありがとうございます。
委員（保護者）	うちは今小学校と中学生の子どもがいまして、小学校の子は、ちょっと野菜類が嫌いで家ではあまり食べないので、小学校の給食は美味しいって言って、いつも残さず食べ

	<p>ているみたいです。ありがとうございます。</p> <p>中学校の子は、ちょっと1点あるのは、カレーがちょっと薄いらしいです。カレーだけが薄いっていうか、小学校のカレーは美味しいらしいのですけど、中学校のカレーが薄いっていうのだけいつも言っています。</p>
委員（保護者）	<p>長男も次男も給食で育ててもらったようなもので、もうお代わりもしそうにしていて、ありがとうございます。小学校に娘がいるのですけど、好き嫌いがすごくって、1回ハッとしたのが、「私お昼にあんなに頑張っていろいろ食べてきただのに夜ご飯ぐらい好きなもの食べさせてよ。」って言われて、そうかと思いながら、本当に栄養バランスとかもいろいろ考えていただいている。</p> <p>あと、先ほど初めて知ったのですけど、地場産が50%を超えていて、すごいなと思って、嬉しかったです。ありがとうございます。また、お願ひします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。大変貴重なご意見、沢山いただいて、学校預かっている私どもも気づかんようなことも言っていただいたんと違うかなと思います。</p> <p>事務局、何かありますか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。学校給食が大変美味しいという声を聞かせていただいているところです。</p> <p>先ほど、ちょっと防災食のところでアレルギーが心配だということで話があったのですけども、今日資料のほうで配付させていただきました「給食センターだより夢2025年5月号」という給食だよりがあるのですけれど、こちらのほうに昨年度実施しました防災給食の際に提供させていただいたヒートレスカレーを載せさせていただいている。これにつきましては、アレルギー特定原材料28品目が含まれていないということで、これを使わせていただいております。</p>

委員（栄養教諭）	<p>防災給食のことなのですけれども、初めて今年の1月にしたときに、何人かやっぱり食べられない子がいたということで、材料のほうを初めにたよりにしたときに食べられない品物が、ここにあるローストココナッツペーストが食べられないナッツと関係していると考えてくれた。ナッツではないんですけども、ちょっと不安なので食べませんっていうふうなことがありました。</p> <p>それを受けて、今年は、これは備蓄という形で、このたよりの中にも書いてあるのですけど、災害はいつどこで起こるかわからないし、給食センターの機械が急に壊れてどうしても給食が提供できないときのローリングストックという形で備えてあるものです。そのときにわかっているのにこれを出すことができないということで、再度たより、小学校の元気さんも詳しく学校でやり取りしてくれたと思うのですけれども、ローストココナッツペーストが入っていないシチューがあるのですけれども、そういうものを各センターで食べられない子の名簿を把握して、別なものを今は用意してあります。</p> <p>ここで申し込まれた方については把握しておりますので、ローストココナッツペーストの入っていない原材料で、これでいいですかって保護者さんにOKしてもらったものを備蓄しています。</p>
委員長	
事務局	

	<p>なかなか教室で授業をいきなり受けることは難しい場合も、言っていただいたように、給食だけでも食べにおいてっていうような形で、広く子どもたちには、呼び掛けも、させていただいているのですが、今後また協力しながら進めていければと思います。学校と保護者の皆さん、地域の皆さんに協力もいただけたらと思いますので、またよろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>はい。ということで、本当に沢山意見をいただきまして、給食というのは、学校制度の基本ですので、そんなところから、いろんな角度で言っていただきました。僕も給食指導・命でやってきましたけれども、こうやって委員をさせてもらって、こんなにいろんなことを考えていただきながらやっていただいているというのが、初めてわかりまして、大変恥ずかしい感じでございますが、ぜひとも、また委員の皆様には、今日聞いていただいたことを全部伝えてもらわなくともいいと思うのですけれども、端々で、そういうチャンスがありましたら、お伝え願えたらと思っています。</p> <p>それでは、今後も運営に関わりまして、事業もいろいろ協力してやっていけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。</p>
事務局（司会）	<p>中川委員長ありがとうございました。それから貴重なご意見をたくさん出していただいた保護者の皆さん、それから校長先生方ありがとうございました。今後も重要な案件がありましたら、また委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思いますので、今後ともどうかよろしくお願ひします。</p>
事務局（司会）	<p>それでは、これで令和7年度第1回伊賀市給食センター運営委員会のほうを終了させていただきたいと思います。</p> <p>なお、廊下を出ていただきましたところが、給食センターの見学用のスペースになっておりますので、もしお時間よろしければちょっと覗いて行っていただけたらと思いますし、</p>

1階の調理スペースをそこでご覧いただけます。  
それから、1釜約1,000人分の大釜も見ていただけるよう  
ですので、よろしくお願ひします。  
それでは、これで終了させていただきます。